



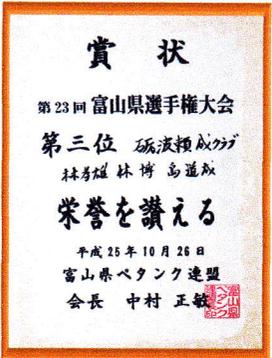
夏野市長らを迎えての開会式

十月二十四日、県西部体育館で、市老連主催の第九回ふれ愛スポーツまつりが開催されました。スポーツを通して会員の親睦とふれあいを深め、幼児との世代交流をしながら健康保持にも役立てようというこの集いに、市内の各単位老人クラブから会員約五七六六人、園児一五〇人あまりが参加、会員と園児がペアになって大玉転がしやピリヤードレースなどに興じ、健康作りとレクリエーションをかねた楽しいひとときを過ごしました。当会からも林孝行会長、林鐵史・林正子両副会長ほか光寿会役員十人が参加しました。

貴重な技の伝承続ける 善導常会の注連縄づくり

林神社の神域と現世を隔てる結界の役割を果たす大切な注連縄が、十月二十六日夜、頼成営農の作業場で、善導常会の皆さん総出の奉仕作業で作られました。

特別なない方のある注連縄作りの技を絶えることなく後代に引き継いでいくためにも、善導の皆さんには今後ともご尽力願いたいと思います。



第二十三回富山県ベタンク選手権大会

頼成クラブ見事第三位に入賞

第二十三回の富山県ベタンク選手権大会が、十月二十六日、砺波市の中村グラウンドで愛知、岐阜などの県外勢も交えた九十一チーム二百七十人余が参加して開催されました。この大会に出場した頼成クラブ(林孝雄・島道成・林博)が予選リーグを勝ち抜いて決勝トーナメントに進み、惜しくも決勝進出は逃しましたが、準決勝で高岡を破り見事第三位入賞を果たしました。

いかるぎ館花壇植え替え

環境美化に地区民一致協力

いかるぎ館の花壇の植え替え作業が、あいにくの雨に見舞われた十月二十七日、約六十人の地区民が参加して行われました。各団体毎に作業が割り振られて、約二千球のチューリップ球根などが手際よく植え込まれました。また、地区内を彩っている芝桜の手入れもあわせて行われました。来春が楽しみです。作業に参加された皆さんありがとうございました。



らんじよ浮世亭だより



今回はタオル体操をしました。日常いつも手元にあるタオルを活用して、効果的な全身運動をするもので、10分余りの体操でうっすらと汗ばむくらいの運動量がありました。自身の健康保持のために日々の生活の中に生かしたいものです。そのあとフライング・デスクを楽しみました。約5分ほど離れた差し渡し1分ほどの輪の中をプラ製のデスクを投げて通す遊びで、一見簡単そうですがやってみるとなかなか思うように行かず、各10投して高島夏子さんの5枚がトップでした。午後は仏説観無量寿経の書写第27回を行いました



光寿会員丹精の菊を愛でつ

観菊のお茶会

今回は**11月7日** 光寿会との共催で会員さん丹精の菊花を觀賞しながらお茶をお楽しみください。9時~15時30分

いかるぎ

奈良時代の持統天皇の御代に始まり、戦国時代に一時中断や延期があったものの、戦後第六十二回目の伊勢神宮式年遷宮が終わり、千三百年にわたって一つの儀式が不変の様式で伝承され続けているというのには実に希有なことですが、神道の行事であるのにも多くの日本人が宗派・信教の垣根を越えて素直に受け入れているのも特異なことです。同じ家の中に神棚と仏壇を備え、結婚式や祭事は神道形式、葬式や法事は仏教形式によりながら、日本人はそれをごく自然に受け入れて特に違和感を抱くことがありません。宗派の対立が時に戦争まで引き起こすイスラム教やキリスト教の國の人達には信じがたいことでしょう。次の式年遷宮は二十年後の二十三年。ひよっとしたら見られるかも。そんな期待を抱くことのできる平和で寛容な日本人に生まれてきて幸せです。